



# とよしま 豊島あつし

公明党 早稲田支部副支部長

## 誠実!情熱!行動! 豊島あつし

プロフィール

- 1968年10月3日、東京都杉並区生まれ●東洋大学第2経営学部卒●家族：妻と二人暮らし
- モットー：決めたことはトコトンやりぬく●好きな言葉：「足下を掘れ そこに泉あり」
- 尊敬する人物：諸葛亮孔明●趣味・特技：読書、映画鑑賞・野球●血液型：A型

### 早稲田支部 ニュース



#### 民間委託されました鶴巻図書館

地域情報発信の拠点が図書館です。鶴巻図書館も民間委託されました。子供から大人まで利用しやすいサービスを!!



#### 地域には様々な課題が山積しています

一人ひとりから声を聞き、語らいながら政策へと実現していきます。現場第一で走ります。



#### 早稲田通り、西早稲田2丁目歩道整備

でこぼこだった歩道が歩きやすくなり、高齢者やお子様たちが喜んでいきます。



#### 都電早稲田駅に駐輪場の設置

“便利な都電”乗降客も多く自転車があふれていました。「1ヶ月500円で登録」駅前がすっきり。



#### 区立保育ルームつるまき園

保育ルームとは、待機児童解消策で、つるまき幼稚園のあき教室を利用。満1才児～2才児12名、家庭的であたたかい園です。



#### 豊島あつしは積極的に街頭演説を行っています

「あの町」「この街」「駅前」で! どうぞ気軽に声をかけて下さい。

### 「人の心の痛み」が わかる区政を!



豊島副支部長

新宿区に住んで22年。

最初は早稲田大学近くの新聞販売店に住み込みました。その後は西早稲田で昼間は働く夜学生として、昼と夜の区別がつかない狭いアパートで暮らしました。

公明党が新宿で全国に先駆けて推進した青年向けの「家賃補助制度」は、当時、「新宿を学生が住める街にしたい」という、私や私の仲間たちの訴えを公明党が取り上げてくれたことから始まっています。

この22年間には、様々なことがありました。しかし、労苦を通じて「人の心の痛み」がわかる人間へと、僅かな

がらでも成長させて頂くことができたと思っています。

政治は、常に生活者の目線が原点でなくてはなりません。特に、生活に身近な区政は、「人の心の痛み」がわかる区政でなくてはならないと思います。その実現には、皆様方お一人お一人の「声」が本当に大切になります。

私たちは、「大衆とともに」という立党精神を胸に、一生懸命に働きますので、どんな事でも結構です、何でも、ご相談いただき、ご意見を頂戴したいと思います。

(早稲田南町での懇談会より)